

神林地区の人あり!

福村力雄さん (南荒井)

二十年も続く神林公民館の古典文学講座、その講師が福村力雄さんです。

講師を始めたきっかけは、北部公民館(現・白板地区公民館)の館長だった当時、企画していた市民公開講座の講師が突然都合つかなくなり、急ぎよその代役を務めたことから。開催までにたった2週間しかなく、猛勉強してなんとか講師を務めたそうですが、その講座に神林から参加された方がいて、「よい講座だったのでぜひ神林でも」と

今号から神林地区で様々に活躍している方を紹介します!

なって今に至るそうです。

資料調べや実際に現地に赴くなどして、一回のシリーズに半年以上かけて準備し、終わってから録音した自身の講義を聴いては、説明の速さや言い回しを反省して、次回に向けてよりわかりやすくなるように工夫をするとのこと。その造詣と熱心さが魅力となつて、長きにわたつて多くの生徒さん(●)を惹きつけています。

日本の昔の景色や人の心を伝える『古来の言葉』を、と



くに若い人たちにも関心を持ってもらい、大切にしたいってほしいとのことでした。

「寄稿」

古典文学と脳トレの素

福村 力雄

スマホ、テレビ、パソコン、新聞さえもない日々。まづは自分で眺め、考え、時には人に聞いて確かめる。花の匂い、色、形。鳥の姿、鳴き声。肌ふれる風、四季の移り変わり。

緑に包まれた森の中で語り、歌い、踊る。夜空にきらめく星に夢を託す。せ、らぎのほたりで愛をさ、やく。時に手をとり合い、時

に憎しみ合う。新しく心ときめく出会い、胸をひききく別れ、などなどの人間模様。一幅の絵だけではおさまりきれない身辺の様々。

山の向こうの景色、妖怪がいるという洞穴、潮を吹く魚、相撲に負けた神が祭られているという神社、お后になりそこねて退治されたという狐・・・数えきれない不思議な世界。そんな場面や状況を、旅をして確かめたり、今までは異なる何かを体験する。

こうして文が書かれ歌が生まれる。

スマホでは表現できない、居眠りしながら見ているテレビ画面には映らない文や歌を読み、脳味噌を動員して、場面や状況を一人一人が自由勝手に想像して楽しむのが古典文学。

いいもんです。おもしろいんです。奥深いものです。



シリーズ

神林のキッズサークル 02 松本菅野ミニバスケットボール教室

菅野小学校の体育館に行くとき、子供たちの元気のいい声

が聞こえてきました。

チームは男子30名、女子17名。「友情、ほほえみ、フェアプレー」がスローガンです。選手たちの汗もキラキラしており、元気いっぱいです。楽しみながら長く続けられることも方針にしています。

バスケットボールは、投げる・走る・跳ぶの運動能力を向上させ、いろいろなスポーツもできる体力を作ります。市の大会で一つでも多く勝ち、優勝を目指して奮闘中。中学生になった時の即戦力となれるように指導が行われています。



練習は毎週土日。体験はいつでも受付中です。

鎖川

6月4日(土) 午前10時! あるインターネットサイトが過重アクセスのため不通となった。電話も話し中が続いた。セイジ・

オザワ マツモト フェスティバル予約窓口だ! ◆目当ては「マーラー交響曲第2番復活」。わたしにとって音楽といえはクラシック。クラシックは「マーラー。マーラーでは「復活」だ。特にその最終楽章の合唱は、何度聞いても感動を覚える。◆「信ぜよ。おまえは理由があればこそ生まれたのだ。無為に苦しむためではない。おお、死よ! おまえはすべてを征服する。しかし今こそ、おまえが征服されたのだ。」◆そしてトランペットが「復活」の主題を神々しく奏でる中、合唱が高らかに歌う。「よみがえる。そうだ。お前はよみがえるであろう! わたしの心よ、一瞬のうちに!」 ◆午後4時。やっと電話がつながった。B、C席は売り切れ。家族4人分のA席を購入。普段はマーラーに全く興味のない子どもたちも、一緒に来てくれる。わたしの人生において、記念すべき日となるだろう。